



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社宮入バルブ製作所
コード番号 6495 URL <http://www.miyairi-valve.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 西田憲司
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 市川 浩

TEL 03-3535-5575

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	3,756	4.5	35	△14.0	43	△1.2	36	32.1
27年3月期第3四半期	3,596	11.4	41	269.7	44	118.2	27	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	0.76	—
27年3月期第3四半期	0.57	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	6,488	3,532	54.4
27年3月期	6,640	3,511	52.9

(参考)自己資本 28年3月期第3四半期 3,532百万円 27年3月期 3,511百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,280	7.3	70	2.1	73	6.0	55	32.0	1.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	48,849,935 株	27年3月期	48,849,935 株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	1,047,708 株	27年3月期	1,047,708 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	47,802,227 株	27年3月期3Q	47,802,234 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。実績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付書類)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における我が国経済は、政府の経済政策を背景に企業収益や雇用情勢が緩やかな回復基調にありました。一方で、中国をはじめとするアジア新興国の景気下振れ、原油価格の大幅な下落、欧州の地政学リスクの高まり等、我が国の景気の先行きについても不透明な状況が続いております。

このような状況のなか、当第3四半期累計期間の売上高は、LPガス容器用弁については容器検査の繁忙期に入ったことに加え、販売価格の見直しによって売価下落が底打ちしつつあるために増加、LPガス鉄鋼製装置用弁についてはプラント開放検査が旺盛に推移したために増加、また、LPガス海上輸送用弁も好調に推移したこと等により、3,756百万円(前年同期比4.5%増)となりました。

損益面については、上期においては主力製品であるLPガス容器用弁の主材料である黄銅材価格が高止まったこと、部材調達への制約による鉄鋼カタログ製品の生産が計画通りに進捗しなかったこと等により収益を圧迫しておりましたが、第3四半期会計期間に入り、9月頃から下落傾向にあった黄銅材仕入価格の低下が(仕入のリードタイムが3ヶ月あるため)終盤において漸く材料原価に反映しはじめたこと、鉄鋼カタログ製品の部材調達も徐々に改善して計画生産が軌道に乗り始めたこと、加えて、販売管理費(人件費ほか)節減の取組みを継続したこと等により収益性が改善し、営業利益35百万円(前年同期比14.0%減)、経常利益43百万円(前年同期比1.2%減)、四半期純利益36百万円(前年同期比32.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債及び純資産の状況

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて、217百万円減少して3,121百万円となりました。これは主に、たな卸資産の増加16百万円による一方で、現金及び預金の減少200百万円および受取手形及び売掛金の減少27百万円によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて、65百万円増加して3,366百万円となりました。これは主に、有形固定資産の増加20百万円および投資その他の資産の増加50百万円によるものです。

この結果、資産合計は前事業年度末に比べて、152百万円減少して6,488百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて、1百万円増加して1,473百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加40百万円および流動負債その他の増加38百万円による一方で、1年内返済予定の長期借入金の減少36百万円および賞与引当金の減少26百万円並びに未払法人税等の減少13百万円によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べて、174百万円減少して1,482百万円となりました。これは主に、社債の減少20百万円および長期借入金の減少143百万円によるものです。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて、173百万円減少して2,955百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて、20百万円増加して3,532百万円となりました。これは主に、利益剰余金の四半期純利益の計上による36百万円の増加による一方で、その他有価証券評価差額金の減少15百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末の52.9%から54.4%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年11月6日発表の「平成28年3月期第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載の業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	951,449	750,942
受取手形及び売掛金	1,156,391	1,128,790
商品及び製品	813,706	753,168
仕掛品	55,449	69,330
原材料及び貯蔵品	307,391	370,658
その他	56,976	50,590
貸倒引当金	△1,515	△1,515
流動資産合計	3,339,849	3,121,964
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	116,966	123,564
構築物(純額)	35,807	33,237
機械及び装置(純額)	137,327	149,131
車両運搬具(純額)	405	607
工具、器具及び備品(純額)	6,371	7,054
土地	2,506,900	2,506,900
リース資産(純額)	2,826	1,823
建設仮勘定	2,357	7,418
有形固定資産合計	2,808,963	2,829,736
無形固定資産		
	47,902	42,215
投資その他の資産		
投資有価証券	173,021	208,325
破産更生債権等	3,742,900	3,742,900
その他	274,877	290,097
貸倒引当金	△3,746,763	△3,746,763
投資その他の資産合計	444,036	494,560
固定資産合計	3,300,902	3,366,512
資産合計	6,640,751	6,488,477

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	612,432	652,736
短期借入金	199,900	200,000
1年内返済予定の長期借入金	270,560	233,770
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払法人税等	14,684	931
賞与引当金	43,533	17,051
その他	290,798	329,223
流動負債合計	1,471,909	1,473,711
固定負債		
社債	20,000	-
長期借入金	391,490	248,260
再評価に係る繰延税金負債	774,262	774,262
退職給付引当金	378,671	366,651
役員退職慰労引当金	51,857	58,107
その他	40,808	34,816
固定負債合計	1,657,090	1,482,097
負債合計	3,129,000	2,955,809
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,507,423	1,993,096
資本剰余金	1,549,401	-
利益剰余金	△3,063,727	36,180
自己株式	△157,214	△157,214
株主資本合計	1,835,882	1,872,062
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	31,620	16,356
土地再評価差額金	1,644,249	1,644,249
評価・換算差額等合計	1,675,869	1,660,605
純資産合計	3,511,751	3,532,668
負債純資産合計	6,640,751	6,488,477

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	3,596,418	3,756,548
売上原価	3,033,058	3,212,876
売上総利益	563,359	543,671
販売費及び一般管理費	521,715	507,871
営業利益	41,643	35,800
営業外収益		
受取利息	1,041	145
受取配当金	1,751	2,042
不動産賃貸料	5,085	6,422
スクラップ売却益	3,361	1,812
受取和解金	4,900	700
損害保険金収入	8,906	17,817
その他	5,692	5,157
営業外収益合計	30,739	34,098
営業外費用		
支払利息	12,293	10,812
社債利息	532	304
手形売却損	10,449	11,185
その他	4,946	3,966
営業外費用合計	28,220	26,269
経常利益	44,162	43,629
特別損失		
固定資産除却損	17	0
固定資産撤去費用	8,089	-
特別損失合計	8,106	0
税引前四半期純利益	36,055	43,629
法人税、住民税及び事業税	8,674	7,448
法人税等合計	8,674	7,448
四半期純利益	27,381	36,180

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成27年6月26日開催の定時株主総会決議に基づき、資本金の一部、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分を実施しております。

① 資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分の目的

繰越利益剰余金の欠損を解消し、財務体質の健全化及び今後の機動的かつ効率的な経営を維持するための資本政策を実現するため、並びに株主の皆様へ早期での復配を目指すことを目的としております。

② 資本金の一部、資本準備金及び利益準備金の額の減少の内容

a) 減少する資本金の一部、資本準備金及び利益準備金の額

資本金	1,514,326千円
資本準備金	1,541,410千円
利益準備金	5,000千円

b) 増加する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金	3,055,737千円
繰越利益剰余金	5,000千円

③ 剰余金の処分の内容

a) 減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金	3,063,727千円
----------	-------------

b) 増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金	3,063,727千円
---------	-------------

上記の結果、第1四半期会計期間において資本金が1,514,326千円及び資本剰余金が1,549,401千円減少し、利益剰余金が3,063,727千円増加しております。

(セグメント情報等)

当社の主たる事業は、高圧ガス用バルブおよび関連機器類の製造、販売等の単一セグメントであるため、記載を省略しております。